

山中温泉ゆけむり健康村に係る経過について

資料 1

時 期	事 項
令和3年3月	【「山中温泉ゆけむり健康村検討委員会」を設置（市）】 山中温泉ゆけむり健康村の設備、運営その他施設に関する事項について、幅広い視点から課題を検証し、改善に向けた方策を検討。
令和3年12月	【山中温泉ゆけむり健康村検討委員会が「山中温泉ゆけむり健康村の今後のあり方に関する提案書」を市に提出】 （概要） 現在の施設機能を縮小（プール廃止、テニスコート減面等）した上で、すこやかホール解体跡地で改築を提案する。
令和4年2月	【加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会を設置（市）】 本市における公共施設の総合的かつ計画的なマネジメントを推進するために必要な事項を公平かつ客観的な視点で検討。
令和4年6月	【加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会が「加賀市公共施設マネジメントのあり方について（報告書）」を市に提出】 （概要） 「市による運営継続は困難である」との結論に至る。 ただし、民間活力を利用したPFI 事業等の活用や民間への土地・建物の譲渡による活用も可能性があると考えられ、道の駅舎は、立地的にも地域の魅力を高める施設となりうるため、採算性を踏まえて検討する必要があると報告。
	【ゆけむり健康村愛好会が市にゆけむり健康村存続を要望】 （要旨） 私たちはゆけむり健康村で、市民や観光客との交流をはじめ、フィットネスや温浴施設で健康増進に努め、利用者の交流親睦を図ってきた。 山中町時代から多くの市民に利用されており、ゆけむり健康村検討委員会の提案書を尊重し、健康増進施設としての存続をお願いする。 ※ゆけむり健康村廃止案に反対し、存続を願う3,190名の署名を添付
令和4年8月	【「ゆけむり健康村・市民説明と意見を聴く会」を開催】 延べ4回を開催し125名の参加があった。当日は、市から「山中温泉ゆけむり健康村検討委員会」並びに「公共施設マネジメント外部検討委員会」からの提案書及び報告書の概要を説明し、その後、参加者から会場並びにアンケートでご意見等をいただいた。 アンケートの回答では、参加者の約9割が会員券による利用者であり、また、週3回以上利用している方が約2/3を占めていたことから、施設の存続を求める要望が大半であった一方、再編に理解を示す意見もあった。

山中温泉ゆけむり健康村に係る経過について

資料 1

時 期	事 項
令和4年12月 ～ 令和5年1月	【公募】 「山中温泉ゆけむり健康村」の施設活用に係る公募型プロポーザル募集を実施（12/19～1/31）
令和5年2月	【協議開始及び施設の休業決定】 ・交渉権者と協議を開始 ・今後の協議期間や事業開始までの設備改修、工事等の準備を念頭に、老朽化著しい施設の状況等に鑑み、4月から当分の間、休業とすることを決定した。
令和5年4月	【施設の休業】 山中温泉ゆけむり健康村の内、道の駅の最小機能（トイレ・駐車場・EV充電設備）以外を当分の間休業する。
令和7年2月	【公募型プロポーザルの手続きを終了、新たな手法の検討】 ・交渉権者と既存施設の活用に関し、様々な事業アイデアを検討してきたが、「昨今の諸物価の高騰による改修費用等のインシャルコスト、光熱水費や人件費等のランニングコストの上昇により、事業採算性の目途が立たないなど、急速な社会情勢の変化から、現在の公募条件での施設活用は困難である。」との回答を確認した。 ・施設活用に係る公募型プロポーザルの手続きを終了し、新たな手法の検討に入る。 ・具体的には、既存施設の活用や温浴施設の設置を前提とせず、市による施設解体や公園広場整備の可能性を含めた自由な提案を求める再度の公募型プロポーザルの実施を視野に検討する。
令和7年7月	【再公募】 「山中温泉ゆけむり健康村」の施設活用に係る公募型プロポーザル募集を開始（7/1～9/30）